

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

✓ 独立行政法人国立病院機構呉医療センター

(2) 事業所の所在地

✓ 広島県呉市青山町3-1

(3) 業種

✓ 医業

(4) 事業所位置図
別紙のとおり

2 計画の期間

✓ 本計画の期間は、平成 26 年度を基準年度とし、平成 27 年度から平成 31 年度までの 5 年間とする。

3 計画の基本的な方向

1. 基本的な考え方

当院は、運営、療養環境及び職場環境の維持改善に配慮の上、業務の性質および規模に対して適切なエネルギー利用を図り、快適な療養空間の整備に努めていきます。

また、省コスト(光熱費の節減)を図り、経営の安定化に寄与するとともに、温室効果ガスの排出抑制に貢献していきたいと考えます。

2. 基本方針

- 効率的なエネルギー運用可能な設備、装置等への更新・導入
- 職員への啓蒙による省エネルギーの推進
- 廃棄物の排出抑制・リサイクルの推進
- グリーン購入の推進

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成26年度	平成29年度
二酸化炭素	13,091	12,750

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成26年度	平成29年度
二酸化炭素	—	—

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成26年度	平成29年度
メタン	—	—
一酸化二窒素	—	—
その他 温室効果 ガス (HFC PFC SF6 NF3)	—	—

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》✓

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 26 年度)	削減目標		目標年度 (平成 31 年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO2	13,091	5.0	655	12,436
非エネルギー起源CO2				0
メタン				0
一酸化二窒素				0
その他 温室効果ガス				0
温室効果ガス 実排出量総計				0
温室効果ガス みなし排出量		-		0
目標設定の考え方	年1%の削減率を目標とする			

※ 削減率(b) = (c) / (a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

単位：排出量(t-CO₂)，原単位数(kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 年度)			原単位 削減目標	目標年度 (平成 年度)		
	排出量 (a)	原単位数 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO2				#VALUE!			
非エネルギー起源CO2				#VALUE!			
メタン				#VALUE!			
一酸化二窒素				#VALUE!			
その他 温室効果ガス				#VALUE!			
総排出量				#VALUE!			
エネルギー消費原単位 (原油換算 k l)	-	-		0.0	-	-	
目標設定の考え方							

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

✓○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項 目	数値目標	具体的な取組み
1	電気使用量の削減	3% (予測は10~20%だが、随時更新中・使用量の増加も見込まれるため)	院内全般の一般照明をLEDへ更新 (随時)
3	電気使用量の削減	1% (H30.5更新、使用量の増加も見込まれるため)	常用発電機を特別受電設備新設に伴い保安用発電機へ変更
2	燃料使用量の削減	1% (検討段階・実施前の取組のため)	・フリークーリングシステムの導入 ・熱源設備の燃料転換 (インバーター化) ・吸収式冷凍機2台をターボ冷凍機に更新 ・炉筒煙管ボイラーを貫流ボイラーへ更新
4			

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み (環境価値の活用等)

	種 類	合計量
1		
2		
3		

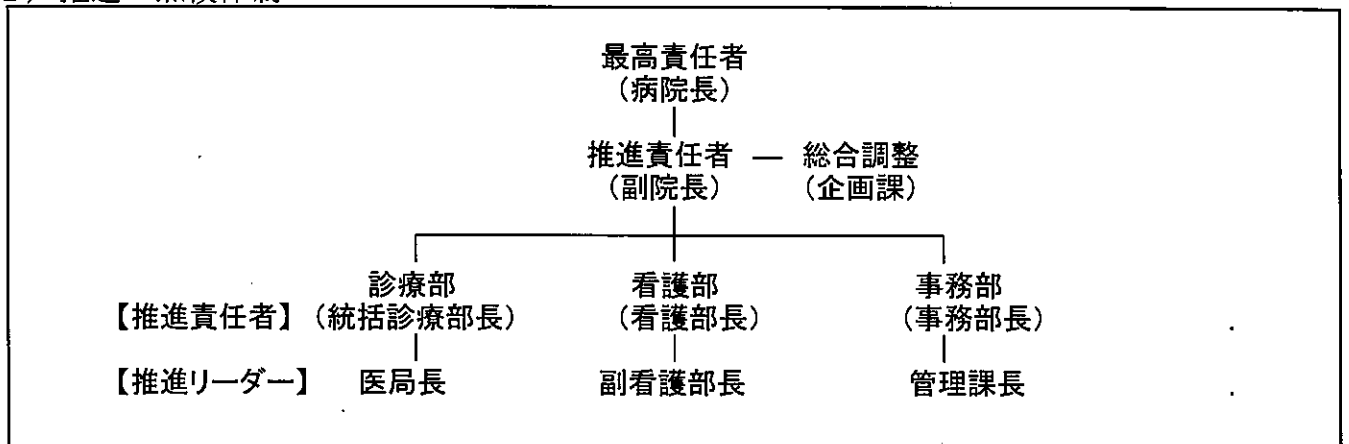
✓○ その他の取組み

	項 目	数値目標	具体的な取組み
1	市水使用量削減		ドレン回収ポンプ新設
2	エネルギー使用量削減		月に一度、ノー残業デーの決行
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制



(2) 実施状況の点検・評価

本計画の点検・評価は、独立行政法人国立病院機構本部総務部広報文書課において実施し、当院または中国四国グループの協力のもとにおこなわれる。
また、本計画の実施中、毎年度、実施状況について調査を実施し、その状況及び技術の進歩、病院の経営状況等を踏まえ、必要に応じて本計画を見直すものとする。

(3) 計画書等の公表

独立行政法人国立病院機構の発行する環境報告書等により公表する。

